

シラバス情報

授業方法	講義 実験 ・ 実習		
系 列	その他		
科 目 名	自動車検査・機器		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	3年後期	火曜日	5・6時限
時 限 数	12時限（期末試験を除く）		
担当教員名	吉田 哲也		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における自動車検査員として自動車関係法令を遵守した車両の保守・点検を行った経験を活かし、整備を行う上で必要となる検査機器の構造と取扱い、並びに関係法令についての講義を実施する。		
授業の目的	自動車の車検整備、検査を行う上で重要な検査機器の構造・取扱い、並びに関係法令について講義する。		
テキスト	①作成資料 ②自動車検査用機械器具の構造と取扱（日本自動車機械工具協会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	ガソリン車の排出ガス規制	排気ガステストの原理・構造・取扱い・測定方法及び関連法規	① ②P79～P89
第2回	ディーゼル車の排出ガス規制	オパシメータの原理・構造・取扱い・測定方法及び関連法規	① ②P103～P110
第3回	灯火装置	全自動ヘッドライトテストの原理・構造・取扱い・測定方法及び関連法規	① ②P45～P64
第4回	制動装置、サイドスリップテスト、速度計1	ブレーキテスト、サイドスリップテスト、速度計の原理・構造・取扱い・測定方法及び関連法規	① ②P9～P41
第5回	制動装置、サイドスリップテスト、速度計2	ブレーキテスト、サイドスリップテスト、速度計の原理・構造・取扱い・測定方法及び関連法規	① ②P9～P41
第6回	騒音関係	騒音計、騒音分析器の構造・取扱い・測定方法及び関連法規	① ②P79～P89
	期末試験	第1回～第6回までの授業内容に関する筆記試験	
到達目標	自動車の車検整備、検査を行う上で重要な検査機器の構造・取扱い、関係法令を修得する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		

<p>成績評価基準</p>	<p>成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>期末試験の点数 80%</p> <p>平常点 20%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。</p> <p>70～79点=良、80～89点=優、90点以上=秀</p> <p>70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点=良とする。</p>
<p>成績評価できない場合の基準</p>	<p>全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が70点未満の場合。</p>